

Information

学会開催案内・新刊紹介などの
情報をお届けします

第11回 医療の質・安全学会 学術集会

日程■11月19日(土)・20日(日)

会場■幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)

テーマ■医療の質と安全のあいだ

プログラム■特別講演「医療過誤事件の
捜査・処理—刑事処罰の行方」藤宗 和
香(元最高検察庁検事, 元立教大学法科
大学院教授)／「笑いの現場から学ぶ!

医療リスクコミュニケーション」W
マコト(中山 真・中原 誠;株式会社
WMcommons)／教育講演「レジリエ
ント・ヘルスケア—複雑適応システムの特
性をふまえた医療の質・安全の向上」中
島 和江(大阪大学医学部附属病院 中央
クオリティマネジメント部)／シンポジ
ウム「現場の事例は共有されているか、
事故調査の結果は共有されているか、再
発防止に活かされているか」／「医療安全
への患者参加をどう進めるか—患者をエ
ンパワーする取り組みの実例」／「トレ
サビリティ確保による医療の質・安全の
向上」／情報伝達エラーを防ぐために必
要な「診療録の標準化」／「医療安全活動
における専従(専任)医師の役割と意義」
—平成27・28年度厚生労働科学研究の成
果から／パネルディスカッション「実践
的医療安全卒後教育法の確立を目指して
—医療安全管理者に求められるコンピ
テンシーとは」／「医療事故調査制度」1年
を経て—再発防止に繋がる調査の考え方
／「医療者の労働環境と労働政策」／「医
療の可視化から始める医療安全ガバナ
ンス強化」／「安全と質の組織マネジメ
ントと教育の在り方」／「Choosing Wisely
Japan の新たな展開とわが国における過
剰医療の現状」／「医療の質を向上させ
る手段としての倫理コンサルテーション
の将来展望」／「医療機関と薬局の連携
による医療安全」／「医療事故当事者に対す

るメンタルサポート体制の構築に向けた
検討」／「医療事故調査制度及び特定機能
病院における義務化にともなう死亡事例
把握の現状と課題」／「患者相談窓口を
活用した医療の質と安全の向上」／「プロ
フェッショナル・オートノミーの観点か
ら、施行後1年の医療事調制度の現状と
課題を考える」／「施設内データの分散型
利活用による医療の質評価のモデル化」
／「安全管理者に求められる臨床倫理的
エッセンス」 ほか

① 第11回医療の質・安全学会学術集会
運営準備室(日本コンベンションサー
ビス株式会社内)

☎ 03-3508-1214

FAX 03-3508-1302

✉ 11jsqsh@convention.co.jp

URL <http://www2.convention.co.jp/11jsqsh/index.html>

第46回日本医事法学会 研究大会

日程■11月19日(土)・20日(日)

会場■明治大学駿河台キャンパスアカ
デミーコモン(東京都千代田区)

プログラム■ワークショップ「小児医療
における意思決定」「医事法と経済」「医
と法の対話—年報医事法学会判決紹介の4
年」／個別報告「透明性ガイドラインに関
する最近の世界の動きと日本の課題」「医
療廃棄物の法的課題—医療廃棄物の排出
主体と廃棄責任の関係」「保険薬局にお
ける疑義照会の実態調査と法制度の問題
点」「カンファレンス尋問—カンファレ
ンス鑑定や書面鑑定を超えて」「医療事故
訴訟における慰謝料算定をめぐる諸問題—
我が国及びドイツの近時の判例分析から
得られるもの」「生殖医療に対する法規制
と生殖ツーリズム—フランスの最近の動
向」／シンポジウム「医療事故調査制度に
ついて」1.「医療事故調査制度」—成立の
経緯, 現況, 問題点: 木村壮介(日本医療
安全調査機構)2. 院内医療事故調査委員
会に求められること: 上田裕一(奈良県
立病院機構 奈良県総合医療センター)3.
医療事故調査等支援団体の立場から: 今

村定臣(日本医師会常任理事)4. 医療事
故調査制度の問題点と被害者がなし得る
事: 宮脇正和(医療過誤原告の会会長)5.
医療事故調査制度の比較法的考察/我妻
学(首都大学東京法科大学院)/ELM(法・
医・倫理の資料館)見学会 ほか
参加費■当日, 受付で資料代(1日目
2000円, 2日目3000円)を支払う。

① 日本医事法学会

URL <http://jaml.jp/meetings/>

『感染対策40の鉄則』刊行



効果的な感染対策に欠かせない知識と
コツが満載。医療関連感染対策を成功さ
せるために、筆者が実践している40の
ルール(=鉄則)をつぶさに紹介。効果的
な感染対策に欠かせない科学的視点や思
考過程についてわかりやすく解説。医療
機関で活用できる知識とコツを満載した
充実の内容。同じ著者による本誌掲載の
「職業感染予防について知るための文献」
(『病院』75巻2号/2016年2月)も併せ
て再読をお勧めしたい。

主な目次■第1章 標準予防策の評価と
改善/第2章 医療関連感染の情報収集
と活用/第3章 日常使いの疫学・統計
学/第4章 感染対策の効果を引き出す
/第5章 病原体の伝播を阻止する/第
6章 医療関連感染予防における多部門
連携

著■坂本 史衣

定価■本体2,800円+税8%

A5判/168頁/医学書院刊

ISBN978-4-260-02797-7

本欄への掲載についてのお問い合わせは、本誌編集室まで。『病院』編集室 byoin@igaku-shoin.co.jp